

## トルコ サクランボの需要は昨年より好調

FreshPlaza 2023年5月26日

アラナール社で販売調整を担当するイト・ゴキイト氏は、この数年サクランボの出荷量が少なかったが、今年はついにそれを好転させる年であると考えている。同氏は、「今年はこの数年に比べてトルコのサクランボの出荷量が多いものと期待している。昨年2022年は、収穫量が非常に少なかったため、トルコのすべての生産者と輸出業者にとって非常に困難な年であった。それはおそらく我が国の過去数十年で最低水準の収穫量であった」と述べた。(以下「」は同氏の発言)

現在この農産物輸出業者は、自社の生産量がまだ十分でないため、他の生産者からサクランボを調達する必要があるが、まもなく自社のサクランボに完全に依存できるようになると同氏は説明する。「2018年以来、弊社のプランテーションに巨額の投資が行われてきた。アラナール社は現在600ヘクタール以上の果樹園を所有しており、そのうち約200ヘクタールがサクランボの生産に使用されている。弊社のサクランボの果樹の大部分はまだ完全に成木化していない。そのため、現在はほとんどのサクランボを契約生産者から購入している。およそ5年後には自社の果樹園が完全に成園化し、その時点で年間1,800トンを超えるサクランボを収穫できるようになると予想している。」

数か月前、同国は一連の強い地震に見舞われた。同氏はまだそのことを悲しく思っているが、サクランボの出荷シーズンがこの恐ろしい出来事によって大きな影響を受けるとは考えていない。「地震は、トルコ全体にとって非常に劇的な事件であり、今でも私たちを深く傷つけている。ただし、サクランボの出荷シーズンに与える地震の影響となると、直接的なものはないと思う。輸出されるサクランボは、ほとんどがトルコの他の地域で栽培されている。」

ヨーロッパのサクランボの需要はこれまで大きくないが、今年はシーズンが始まる前にすでに高まっているようだと同氏は言う。「パンデミックの後、特にヨーロッパではサクランボの需要が減少したが、今年は再び需要が増えている。弊社のサクランボは世界中で人気があり、シーズンが始まる前にすでに引き合いがあるため、ヨーロッパ、アジアの太平洋側、南アジア、中東での販売を拡大することを見込んでいる。」

「欧州市場に関しては、トルコは主にスペインと競合する。競争の観点から、価格はヨーロッパの消費者が産品を選択する際の重要な要素の一つである。ヨーロッパの多くの取引業者やスーパーマーケットは、独特で濃厚な風味のトルコ産のサクランボを入手することを特に目指している。ジラート(Ziraat) 900は、トルコが輸出する主要なサクランボ品種である。これに加えて、弊社は自社の果樹園でレジーナ品種のサクランボも栽培している。この品種は棚持ちがよいことで知られており、弊社の取引先からの引き合いが強い。全体として、良いサクランボシーズンとなることを期待している。」

執筆者: ニック・ピーターズ